

令和7年7月1日

令和7年度 第1回運営協議会 議事録

日時：令和7年7月1日（火）15時30分～16時30分

場所：大阪府立堺工科高等学校 大会議室

出席：【学校運営協議会委員】皆川委員、土井委員、西尾委員、玉城委員、村田委員、垣添委員

【学校】東≪事務局≫堀江、義永、小寺、安井、吉井、瀧澤、阪本、富澤、濱崎、伊豆田、真田、山本裕、中川
議事内容：

1. 開会のあいさつ

本日より求人票の受付開始。昨年度と同等以上をいただける見込み。

大阪工業大学と協定を結んだ

生徒たちに社会人基礎力を身につけさせ、プライドをもてるように教えていかないといけない。

2. 自己紹介

3. 会長・副会長選出

会長に皆川委員、副会長に土井委員

4. 報告

（1）学校経営計画等について

ア 中期的目標

パンフレットの更新、中学校訪問での発信など進学専科の周知について

中学校の教員への工業教育の周知について

生徒の探求力を育成するために、教員も資質向上に努める

働き方改革について、昨年度年間720時間の超過が3名、今年は0にする

熱中症対策で、ファン付きベストの配置を進める

イ 本年度の取組内容

・人間力の育成

基礎学力テストで入学生は下がっているが、卒業までに徐々に上がっている

支援教育の充実 SSWの拠点校としてSSWが常駐、不登校生徒の対応いただいている

・工業教育の充実

生徒たちに技術を身に着ける企業連携を今年度も取り組む予定

資格指導 今年度850名をめざす

コンテストの挑戦 大阪大会電気工事部門 1位、2位 電子工作部門2位

工業教育の魅力発信 万博会場でのイベント参加など、呼ばれればどこにでも参加する姿勢

広報活動の推進 PTAに学校紹介動画を作成してもらいユーチューブにアップ

・教員の資質向上

実習内容の刷新をおこない、新しい技術取り入れていく

ICTの活用について考えていく

熱中症対策を実施する

残業時間を減らしていく

- ・地域との連携

課題研究でIBMと連携授業を実施

大仙公園での地元イベントに参加

(2) 教科書採択について

(3) 定時制の課程 学校経営計画等について

5. 協議

工業教育について、意見をいただきたい

- ・プレゼンや自主性を育てる指導はどのようなものがあるか

→アクティブラーニングなど、多くの授業で自分で考える機会を取り入れている。プレゼンについては課題研究など発表の場や機会をつくっている。

- ・工業高校に進む生徒の割合は本校では変わっていない。

少子化や基礎学力低迷など、小中高連携して課題解決できればよい。

- ・女子生徒への待遇（トイレや更衣室など）がまだまだではないか

→できる限り意識的に取り組んでいる。更衣室は今年度改修ができる。トイレは継続して検討していく

- ・高校時代に国語力を高めてほしい、報告書を書く、提案書を書く、詳細を確認することなどが必要。

- ・日本の国策など、社会情勢を意識し人材育成をする必要がある

- ・好奇心の薄れ、好きなことやしたいことがない子どもが増え、偏差値で進路が決まっている

- ・自分の感情を言語化することが重要である

- ・大学でもお客さん感覚で主体的に取り組める学生がいる。非常に優秀な学生もいるが。

- ・課題の多い学生の指導には時間がかかるが、優秀な生徒をより伸ばすことが大切

- ・教員の業務にAIを活用し、働き方改革などにつなげていく必要がある

6. 事務連絡

第2回は12月1日（月）で予定確認をお願いしたい。何かあればメールで

7. 閉会あいさつ

忌憚のない意見いただき、ありがとうございました。

社会人基礎力、業務の軽減、業務について、部署ごとに責任をもってしないといけない